

そろそろ「あれ」の時期です♪

みなさんこんにちは。平成 30 年度ももうスタートして 1 か月が経過しました。新しい生活には馴染めましたでしょうか。私も無事にヤンゴン日本人学校の 2 年目の生活をスタートしています。仕事としては昨年度「中学部 2 年担任」でしたが、今年度は「中学部副担任」をやっています。今までの学校（北海道）では中 2 担任を持つとそのまま中 3 担任を持つことが多かったのでびっくりしましたが、他の都府県では毎年担任をシャッフルする学校もあるそうで、本校も校長先生の判断のもと、このような体制になりました。若干の寂しさはあるものの、去年担任していた生徒とはほぼ毎日授業等で顔を合わせられるのでその寂しさも紛らわせることができますし、何よりも「副担任」という仕事の幅の広さに今更ながらびっくりしています。以前緑園中学校で一緒に学年を組んでいた副担任の先生の姿を思い浮かべながら、「担任が存分に力を発揮できるように、自分がどう動くべきか」ということを考えるのは、とても難しいですがやりがいも感じます。今年 1 年でこのスキルを身に着けることが目標です。

さて、そんな中 4 月を迎えたので、昨年ご紹介した「あれ」の時期がやってきました。そう、ティンジャンです。昨年同様水着を着て、トラックの荷台に水桶と一緒に乗り込み、道行く人に水をかけ、水をかけられ、昨年 1 年間の悪いものを文字通り「水に流して」きました。昨年は着任したばかりでそんな余裕は全くなかったのですが、今年は祭りも十分楽しめました。ちなみにティンジャン明けの日には各家庭をお坊さんが回って、お祈りをささげるそうです。写真は我が家コンドのエントランスですが、いつもはないレッドカーペットが敷かれ、コンドの住人がお坊さんにお祈りをささげていました。



さて実は、今号でご紹介したいのは「ティンジャン」の話ではないのです。この時期ミャンマーは 1 年の中で一番暑い時期を迎えます。暑いということは理科的見地から言うと「太陽からのエネルギー量が多いから」であり、そのエネルギー量が最大となる時は「南中高度が 90° になる時」です。そう！ 実はこの時期、ミャンマーの南中高度は極めて 90° に近い状態になります。（計算の方法については <https://www.nao.ac.jp/faq/a0109.html> を参考しています。）十勝・帯広であれば北緯 42° くらいですので、最大南中高度が「90° - 42° + 23.4° = 71.4°」となります。つまりどんなに太陽が高くなても南中高度が 90° になることはありません。つまり上の式で分かるように、南中高度 90° となるためには緯度が 23.4°、つまり回帰線よりも赤道に近くなくてはならないということになります。

しかし、ここヤンゴンの緯度は北緯 16°！ 北回帰線（北緯 23.4°）よりも赤道に近いので南中高度が 90° になりうることです。ここに来る以前から『あ～、南中高度 90° の時の写真撮りたいな～。南中高度 90° ってことは、頭の真上に太陽があるってことだから、影が足の真下に落ちて一見「あれ？ 影がない？」という写真が撮れるはず。その写真を生徒に見せて授業したいな～』と常々思っていたので、これはチャンスと一年機会をうかがっていたのですが、昨年はチャンスを逃していました。そしていよいよ、満を持して撮った写真がこちらです。（4/14 正午撮影）

…結構なずれがあります。どうしてだろうと Google 検索してみるとあるサイトを見つきました。（<https://keisan.casio.jp/exec/system/1185781259>）このサイトで計算してみたところ、今年の最大南中高度は『5/6（日）正午』だそうです。つまり、写真を撮った段階ではまだ南中高度が 90° となっていなかったため、予想通りの写真にならなかったというわけです。気を取り直して今週日曜に再チャレンジしたいと思いますが、不安点が 2 つ。1 つはぼちぼち雨季の時期に突入するので、何とか日曜日晴れてほしいということ。そして 2 つ目は…これだけ暑い土地にいて、毎日汗をダラダラかいているにもかかわらず、全くと言っていいほど北海道時代と変わらぬこの巨体。今回とった写真だと、体が大きすぎて影がうまく映っていません！ これは由々しき問題です。あと 5 日間でどこまで体は細くなるのか！ そして写真は撮ることができなのか？ みなさん、乞うご期待ということで…。



それではまた来月こちらでの生活をご紹介します。